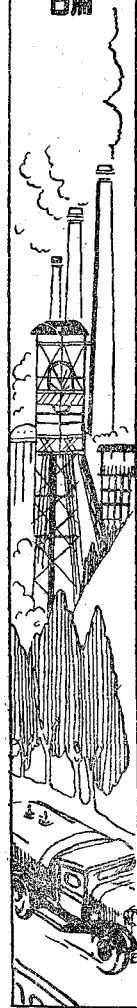


時論



總力態勢と道路政策

富 山 健

昭和十五年度豫算編成方針も、先般閣議の決定に依り政府の意圖が鮮明せられたのであつて、其の重點は、戦争目的遂行に限定せられて居る。従つて道路政策に付ても亦是に即應して、總合國力の充實と生産力の擴充を強化する見地に於て樹立せらるべきは論を俟たない。又固より新東亞の建設に協力する建前に於て編成せらるべきである。

しからば此の高度戦時態勢下に對處する道路政策は之等の要求を如何なる形態に於て充塞せしめんとするものであるか。固より其の個々の項目に付ての詳細を記述するを得ないのであるが、少

くとも國家總力戦下の豫算の特異性乃至新機軸とも云ふべき點を探求して其の方向を示唆することは、國民の齊しく要望する所であり、又銃後國力の充實方策に對する政府の所信と見解とを表明するものとして一言觸れて見たいと思ふのである。

◇

内務省議の決定に依れば、來年度に於ける道路費豫算編成の根本方針は、日滿支交通體制の確立に順應すること、陸運能力の昂揚とにある。後者に付ては其の強調の厚薄は兎も角從來から道路改良の最高目標であつたのであるが、前者は實に今次事變の長期階段に即應した新企劃である。また後者に付ても、特に強要せらるゝ所以のものは前者の重大性と唇齒輔車の關係にあるからである。従つて此の二大主眼點を具體的に處理するに當つては、徹底的な重點主義を勵行せんとするものゝ如くである。

◇

此の趣旨を滿たし、之に立脚して編成せられたるものは、(イ)軍事國防上必要なるもの、(ロ)生産擴充上重要なる關係を有するもの、(ハ)大都市及其の附近のもの、(ニ)重要なる都市相互間の連絡上必要なるもの、(ホ)重要なる港灣、鐵道等と密接なる關係を有するもの、(ヘ)交通頗繁なるもの等に於ける道路の改良である。従つて例へば新京濱國道、關門國道等は其の竣功特に急がるべく、或は又東京大阪間國道の完成の如きは焦眉の急務とせらるゝ所であらう。重要府縣道に付ても亦、之に則り措

置せらるべきは勿論である。

更に本誌前號所載の如く、國策として決定せられた既改良未鋪裝道路の全面的鋪裝も、當然に實行に移さるべきは明瞭なことであつて、路政當局の全力を傾注すべきものであらふ。

◇

之を要するに總力態勢下に於ける昭和十五年道路改良事業は、其の一は國府縣道の集中的改良であり、其の二は鋪裝道路の普及に存する。しかも兩者に共通する根幹は、叙上の見識と方針の下に編成せられたのであつて、改良にしろ鋪裝にしろ所謂非常時下に於ける路政の一定型とも稱せらるべきものであつて、頗る鞏固なものである。

而して國府縣道の改良事業に於ては、十四年度成立豫算と略々同額であるが、鋪裝費に於て新に國費約千萬圓を加へんとするものであつて、結局道路費の分量は、本年度に倍加せんとするものである。これは路政當局としては、金額は最小のものであるが、政策としては最急最大のものなることを附言して其の成立を祈るものである。

日英會談についての英國の不信 六月二十六日日本國政府の命を受け駐日英國大使は天津の事態解決の爲東京に於いて日英會談を開始した。其旨有田外相に申入れを爲したが、唯原則的協調を得たるも、現金引渡及經濟問題に關しては第三國の介入を必要とする旨を以つて八月二十一日會談を決裂に導いた。英國政府は第三國との關係に責任轉嫁の聲明を爲し、日本政府は英國の主張に對し第三國の介入を許すべきものにあらざることを以つて反駁の聲明を發した。か理論的反駁は其の要諦を明かにし得たるも

吾輩を以つて見れば、隔靴搔痒の感を禁じ得ない、思ひ見よ英國が東京會談の申入れを爲すに當つては、單獨の責任を限度として會談を有効に導くの用意即ち治安問題は勿論あらゆる經濟問題を協議すべきは當初より明かにせられたるが、故に之に對處すべき道徳的責任があるは云ふまでもない、會談の眞只中に在りて今更の如く九ヶ國條約及第三國關係を云爲し會談を決裂に導きたる不信不義は、天も許さず地も容れざる點である。(洗)